

2016年12月実績概要（メモ）

（2017. 1. 19）

汎用樹脂の生産は不揃いとなる一方、化成品、合成ゴム、芳香族製品の生産は総じて増加

1. 生産動向

イ) エチレン 580,000トン

前月比 +4.0%（+22,100トン）
前年同月比 ▲5.6%（▲34,100トン）

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	+ 3.3 %	-
定修要因等	-	-
能力増減	-	▲ 6.8 %
稼働率変動	+ 0.7 %	+ 1.2 %
生産増減率	+ 4.0 %	▲ 5.6 %

稼働プラントの実質稼働率試算：前月97.8%→当月98.4%←前年同月97.2%

定修プラント：前月なし→当月なし←前年同月なし

2016年暦年生産量 6,279.3千トン 前年比▲8.8%

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数増に加えて稼働率要因あるいは定修規模差から HD、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、MMAモノマー、AN、SBR、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの12品目でプラス。LD、PP、PSなどの5品目は稼働率要因等からマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因や定修規模差等から PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、MMAモノマー、AN、SBR、ベンゼン、キシレンなどの12品目でプラス。LD、HD、PS、SM、BRの5品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数の増加があったが、主に稼働率要因から LD、PP、PS ではマイナスとなった。HD は日数増と稼働率要因からプラスとなった。

前年比では、主に稼働率要因から LD、HD、PS ではマイナス。PP のみがプラスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、年末休暇に伴う営業日数の減少もあり LD、HD、PP の3樹脂でマイナスとなった。PS は雑貨・産業用等の出荷が増加したこともありプラスとなった。

前年比では、LD、PP、PS でプラス、HD は前年並みの出荷となった。出荷分野別では、LD では、主にフィルム分野、PP では射出成形分野等の出荷がそれぞれで増加した。PS は前年の出荷水準が全般的に低位であったこともあり、当月はこれとの比較上、包装分野、雑貨・産業分野をはじめとして全分野での出荷が増加し大幅なプラスとなった。

ハ) 輸出

出荷の傾向としては引き続き国内向けが中心となっているが、当月は、これまでの輸出水準が低位であったこともあり前月比では LD、HD、PP がプラス。PS のみがマイナスとなった。

前年比では、HD、PS に加えて PP が久方振りにプラスとなった。LD では引き続きマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、前月に対して LD、HD、PP で増加し、PS は減少した。在庫率(季節調整済)は前月に対して LD、PP、PS で若干の低下、HD は前月並みとなった。在庫水準としては LD、HD はほぼ適正、PP、PS はややタイト気味となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		11月末	12月末
LD	+ 4,800	2.7	2.6
HD	+ 3,000	2.4	2.4
PP	+ 4,800	2.5	2.4
PS	▲ 2,300	1.4	1.3

以上